

脱水ケーキ試験方法

②溶出量試験

試験項目		試験方法	定量下限	表示桁	備考
溶	検液の作成 (VOC以外)	環境庁告示第13号 (産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法)			
	ケルダール窒素 (mg/L)	下水試験法5. 1. 18. 1ケルダール窒素法	0. 1	2	
出	全りん (〃)	下水試験法5. 1. 19 前処理 硝酸・過塩素酸分解 定量 モリブデン青吸光光度法	0. 1	2	
	全シアン (〃)	前処理 JIS K0102 38. 1. 2 定量 JIS K0102 38. 3 4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法 定量 JIS K0102 38. 2 ピリジン-ピラゾロン吸光光度法	0. 1	2	
量	全水銀 (〃)	環境庁告示第59号付表1 還元気化法	0. 0005	2	
	アルキル水銀 (〃)	環境庁告示第59号付表2 ガスクロマトグラフ法	0. 0005	2	
試	カドミウム (〃)	前処理JIS K 0102 5 定量JIS K 0102 55. 3 ICP発光分光分析法	0. 01	2	
	鉛 (〃)	前処理JIS K 0102 5 定量JIS K 0102 54. 3 ICP発光分光分析法	0. 01	2	
験	六価クロム (〃)	JIS K 0102 65. 2. 1 ジフェニルカルバジド吸光光度法 JIS K 0102 65. 2. 4 ICP発光分光分析法	0. 05	2	
	全クロム (〃)	前処理JIS K 0102 5 定量JIS K 0102 65. 1. 4 ICP発光分光分析法	0. 01	2	
	銅 (〃)	前処理JIS K 0102 5 定量JIS K 0102 52. 4 ICP発光分光分析法	0. 01	2	
	亜鉛 (〃)	前処理JIS K 0102 5 定量JIS K 0102 53. 3 ICP発光分光分析法	0. 01	2	
	全鉄 (〃)	前処理JIS K 0102 5 定量JIS K 0102 57. 4 ICP発光分光分析法	0. 1	2	
	全マンガン (〃)	前処理JIS K 0102 5 定量JIS K 0102 56. 4 ICP発光分光分析法	0. 01	2	
	ニッケル (〃)	前処理 JIS K0102 5 定量 JIS K0102 59. 3 ICP発光分光分析法	0. 01	2	
	アルミニウム (〃)	前処理 JIS K0102 5 定量 JIS K0102 58. 4 ICP発光分光分析法	0. 1	2	
	砒素 (〃)	JIS K 0102 61. 2 水素化物発生原子吸光法	0. 01	2	
	セレン (〃)	JIS K 0102 67. 2 水素化物発生原子吸光法	0. 01	2	
	P C B (〃)	環境庁告示第59号付表3 ガスクロマトグラフ法	0. 0005	2	
	有機りん (〃)	環境庁告示第64号付表1 ガスクロマトグラフ法	0. 1	2	
	ふっ素 (〃)	JIS K0102 34. 3 イオンクロマトグラフ法	0. 1	2	
	ほう素 (〃)	JIS K 0102 47. 3 ICP発光分光分析法	0. 1	2	
	チウラム (μg/L)	環境庁告示第59号付表4 液体クロマトグラフ法	6	2	
	シマジン (〃)	環境庁告示第59号付表5第1 ガスクロマトグラフ質量分析法	3	2	
	チオベンカルブ (〃)	環境庁告示第59号付表5第1 ガスクロマトグラフ質量分析法	20	2	
	検液の作成 (VOC)	環境庁告示第13号別表第2の3ハ			
	トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ジクロロメタン 四塩化炭素 1, 2-ジクロロエタン 1, 1-ジクロロエチレン シス-1, 2-ジクロロエチレン 1, 1, 1-トリクロロエタン 1, 1, 2-トリクロロエタン 1, 3-ジクロロプロペン ベンゼン (μg/L)	JIS K 0125 5. 2 ヘッドスペース - ガスクロマトグラフ質量分析法	1	2	

アナモックス施設に係る水質試験項目および方法

試験項目	採取試験料					試験方法	定量下限	有効桁数
	原水	凝集沈殿槽出口	BOD酸化槽	亜硝酸化槽出口	処理水			
水温 (℃)	◎			◎	◎	JIS K 0102 7.2(棒状温度計(JIS B 7411)50℃又は100℃)	—	2
pH (mg/L)	◎			◎	◎	JIS K 0102 12.1 ガラス電極法(JIS Z 8802)	0.1	小 1
全窒素 (mg/L)	◎		◎	◎	◎	JIS K 0102 45.2 紫外線吸光度法	0.2	2
溶解性窒素 (mg/L)						ろ過JIS K 0102 3.2 定量JIS K 0102 45.2 紫外線吸光度法	0.2	2
アンモニア性窒素 (mg/L)	◎	○		◎ ○(各槽)	◎	前処理JIS K 0102 42.1 (蒸留法) 定量JIS K 0102 42.2 インドフェノール青吸光度法	0.1	2
						JIS K 0102 42.4 イオン電極法	0.1	2
						JIS K 0102 42.5 イオンクロマトグラフ法	0.1	2
亜硝酸性窒素 (mg/L)				◎	◎	JIS K 0102 43.1.1 ナフチルエチレンジアミン吸光度法	0.1	2
						JIS K 0102 43.1.2 イオンクロマトグラフ法	0.1	2
硝酸性窒素 (mg/L)				◎	◎	JIS K 0102 43.2.4 ブルシン吸光度法	0.1	2
						JIS K 0102 43.2.5 イオンクロマトグラフ法	0.1	2
全りん (mg/L)	◎				◎	前処理JIS K 0102 46.3.1 ベルオキソニ硫酸カリウム分解法 定量JIS K 0102 46.1.1 モリブデン酸青法	0.1	2
りん酸態りん (mg/L)	◎	◎			◎	JIS K 0102 46.1.1 モリブデン青吸光度法	0.1	2
						JIS K 0102 46.1.3 イオンクロマトグラフ法	0.1	2
S S (mg/L)	◎	◎			◎	環境庁告示第59号付表9 GFP法	1	2
BOD (mg/L)	◎		◎	◎	◎	JIS K 0102 21 DO測定JIS K 0102 32.1 よう素滴定法 32.3 隔膜電極法	0.1	2
溶解性BOD (mg/L)	◎		◎	◎	◎	ろ過JIS K 0102 3.2 定量JIS K 0102 21 DO測定JIS K 0102 32.1 よう素滴定法 32.3 隔膜電極法	0.1	2
C-BOD (mg/L)						JIS K 0102 21備考1 DO測定JIS K 0102 32.1 よう素滴定法 32.3 隔膜電極法	0.1	2
アルカリ度 (mg/L)	◎			◎		JIS K 0102 15.1 酸消費量(pH4.8)	—	2
COD (mg/L)						JIS K 0102 17 CODMn	0.1	2
無機炭素(IC) (mg/L)				○(各槽)		下水試験方法1.24.1 燃焼酸化-赤外線式TOC分析法	1	2

- 備考 1. 水質試験頻度は、◎印は月2回以上、○印は月1回以上、●印は2ヶ月1回以上、△印は3ヶ月1回以上、▽印は6ヶ月1回以上、☆印は年1回以上、★印は法律上の対象処理場（資料11参照）について、年1回以上とする。
また、空欄については必要に応じて水質測定をおこなう。
2. 測定値及び平均値は、JIS Z 8401（数値の丸め方）によって丸める。
3. 測定値が定量下限未満の場合は、“ND”と表示する。ただし、大腸菌群数については“0”とする。